

平成 19 年 12 月

新潟県中越沖地震後の柏崎刈羽原子力発電所土木構造物健全性評価WGの 設置について

1. WG設置の目的

原子力発電所土木構造物の耐震安全性の評価手法については、1987年以降、原子力土木委員会の限界状態設計部会、耐震性能評価部会（岡村甫主査，丸山久一主査）にて検討が進められてきた。その成果は「原子力発電所屋外重要土木構造物の耐震性能照査指針」（2005年6月）としてとりまとめられており、現在は本指針を活用して、各社で既設RC構造物の耐震安全性評価が実施されている。

このような状況の中、本年7月に新潟県中越沖地震が発生し、一部土木構造物に被害が確認されている。柏崎刈羽原子力発電所の屋外重要構造物については、今回の地震を踏まえ、今後耐震安全性評価を実施する予定となっているが、それに先立ち、構造物の点検方法や健全性の評価方法を整理するとともに、点検結果に基づき現状の健全性を確認しておくことは意義深いものと考えられる。

上記を踏まえ、土木構造物の健全性について、専門的、中立的な立場で評価するため、土木学会内にWGを設置し検討を進める。

2. 期 間

平成 19 年 12 月～平成 20 年 3 月

3. WGの進め方

実施にあたっては、土木学会原子力土木委員会、構造健全性評価部会（宮川主査）のもとにWGを設置し、検討を進める。なお本活動は、東京電力からの要請を受けて、中立的立場の学術機関としての土木学会が実施するものである。

4. 構成委員

主査：委員の中から推薦していただく

委員：丸山 久一 長岡技術科学大学 副学長

國生 剛治 中央大学 理工学部 土木工学科 教授

石橋 忠良 東日本旅客鉄道（株）建設工事部 構造技術センター 所長

金津 努 電力中央研究所 地球工学研究所 副所長

事務局：土木学会

説明者：東京電力

5. 対象構造物

非常用取水路、原子炉補機冷却系配管ダクト、非常用ガス処理系配管ダクト、ディーゼル発電用燃料タンク基礎、ディーゼル発電用燃料配管ダクト

6. 審議項目とその工程

WGでは、点検方法及び点検結果、健全性評価方法及び評価結果の妥当性について審議していただく。

審議項目	工 程			
	12月	1月	2月	3月
WG	設置 ▽		現調 ▽ 審議 ▽	現調 ▽ 審議 ▽ 審議 ▽
点検方法			=====	
点検結果			=====	=====
評価方法			=====	=====
評価結果			=====	=====

以 上